

特別シンポジウム「インフルエンザ罹患後の異常行動と薬剤疫学」のご案内

ver.1.0 2007.5.1

日時： 2007年5月20日(日) 13:00-17:00

場所： 東京大学医学部教育研究棟 鉄門記念講堂

(営団地下鉄丸の内線、都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」下車徒歩約10分)

主催： 日本薬剤疫学会 共催： 日本計量生物学会

背景： インフルエンザ罹患時における異常行動とタミフルの関係については、メディアで大きく報道され社会的な関心を呼んでいる。しかし、そこで時に触れられる、平成17年度厚生労働科学研究「インフルエンザに伴う随伴症状の発現状況に関する調査研究」(班長：横浜市立大学医学部教授・横田俊平)の報告書については、その調査結果の一部が報道されているものの、全般的な内容が必ずしも十分には知られていない。

調査では、2005/2006年シーズンに約2,800人分のインフルエンザ罹患後の情報が収集され、臨床症状として異常言動(10.5%)、けいれん(0.6%)、熱性けいれん(2.6%)、意識障害(1.3%)などの発現頻度が明らかにされ、発現時期は発熱後1~2日に集中し、薬剤使用割合はタミフルが90%、アセトアミノフェンが39%などであった。また臨床症状と薬剤との関連については、偶然性を否定できない程度の相対リスク増大が見られた。しかし、調査対象者の9割が10歳以下であったこと、1日を朝・昼・夜などの時間帯に分類しての調査であったため薬剤使用開始と臨床症状発現が同じ時間帯に起こった場合にどちらが先か分からない、などの問題や特徴がある。

そこで、研究班報告書やその補足集計などを薬剤疫学会ホームページ(<http://www.jspe.jp/>)に関連情報とともに公開し、インフルエンザ罹患後の異常行動と治療薬剤との関連に関する薬剤疫学からみた現状について、関係者による報告と議論を行う。なお、全体としてやや難解な疫学的概念や方法を、この領域の非専門家にも理解できるように進行する。

本シンポジウムでは、日本薬剤疫学会がその使命・特色とする疫学や生物統計学の切り口からの議論を主に行う。他の側面からの議論は基本的には他のフォーラムなどに委ねる。

目的： (1) 平成17年度の厚生労働科学研究の調査結果などにに基づき、インフルエンザ罹患後の異常行動と薬剤との関連について、薬剤疫学からみたエビデンスに関する議論を行う。

(2) 薬剤疫学研究における各種の研究手法の特色や使い方の理解を、この領域の非専門家を含めて深める。

組織委員会：

津谷喜一郎 (東京大学薬学系研究科医薬政策学)

大橋靖雄 (東京大学医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学)

八重ゆかり (東京大学医学系研究科健康科学・看護学専攻疫学・予防保健学)

申し込み方法：

参加申込書（以下のアドレスからダウンロードできます: <http://www.jspe.jp/>）にご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、または、氏名、所属機関名・部署、連絡先（住所、TEL、FAX、e-mail）をe-mailにて下記あてお送りください。

問い合わせ・申し込み先：

特別シンポジウム「インフルエンザ罹患後の異常行動と薬剤疫学」事務局

NPO 法人日本臨床研究支援ユニット内（担当：毛利光子）

tel: 03-5298-8551 fax: 03-5298-8535 e-mail: [mouri@crsu.org](mailto:mouri@crsu.org)

参加費（資料代）：1,000 円（当日受付で支払い）

プログラム：

座長 津谷喜一郎（東京大学薬学系研究科医薬政策学）

大橋靖雄（東京大学医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学）

13:00-13:10 主催者挨拶

13:10-13:30 1. 佐藤俊哉（京都大学医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学）  
薬剤疫学研究を理解するためのキーワード解説

13:30-13:50 2. 横田俊平（横浜市立大学医学部）  
「インフルエンザに伴う随伴症状の発現状況に関する調査研究」(1)  
-研究の背景、インフルエンザ罹患後の臨床症状と治療薬剤の概要-

13:50-14:20 3. 藤田利治（統計数理研究所）  
「インフルエンザに伴う随伴症状の発現状況に関する調査研究」(2)  
-臨床症状と治療薬剤の関連についての統計解析-

14:20-14:50 4. 浜六郎（NPO 法人医薬ビジランスセンター）  
タミフルは中枢抑制作用により異常行動死や突然死を起こす

14:50-15:00 <休憩 10 分>

15:00-17:00 5. 総合討論  
上記 4 人に、水口雅（東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医科学）、別府宏圀(医薬品・治療研究会)を含め、必要に応じてスライドなどを用い議論。

以上